

大阪ガストランジション・ファイナンス レポート（2024 年度実績）

温室効果ガスの排出（スコープ 1・2・3）、CO₂ 削減貢献量実績

1. 温室効果ガスの排出（スコープ 1・2・3）

Daigas グループ事業全体のバリューチェーンを対象に、温室効果ガス（GHG）排出量を算定しています。

Scope	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度実績	2024 年度実績
Scope1	4,526,038 t-CO ₂ e	4,405,987 t-CO ₂ e	4,441,258 t-CO ₂ e	4,439,629 t-CO ₂ e
Scope2	334,433 t-CO ₂ e	323,790 t-CO ₂ e	324,118 t-CO ₂ e	334,786 t-CO ₂ e
Scope3	21,924,919 t-CO ₂ e	21,246,842 t-CO ₂ e	20,866,705 t-CO ₂ e	19,645,563 t-CO ₂ e
合計	26,785,390 t-CO ₂ e	25,976,619 t-CO ₂ e	25,632,081 t-CO ₂ e	24,419,978 t-CO ₂ e

算定対象：大阪ガス（1 社）と、連結子会社（163 社）のうちデータ把握が困難かつ環境負荷の小さい、テナントとして入居している会社ならびに海外の会社を除いた関係会社（67 社）の計 68 社。なお、GHG 排出量については海外子会社（2 社）を追加しています。

2. CO₂ 排出削減貢献量

Daigas グループは、お客さま先や自社事業活動において、国内外で様々な低・脱炭素化に取り組んでおり、社会全体の CO₂ 排出削減に貢献する各種の取り組みを対象に CO₂ 排出削減貢献量を算定しています。

2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度実績	2024 年度実績
336 万 t-CO ₂	386 万 t-CO ₂	501 万 t-CO ₂	629 万 t-CO ₂

トランジション・ファイナンスによる資金調達実績

2025 年 3 月 31 日までに、下表の通りトランジション・ファイナンスによる資金調達を実施しています。

項目		発行時期	調達額	資金用途
社債	第 1 回トランジションボンド	2022 年 6 月	100 億円	印南風力発電所、野辺地風力発電所、横浜町風力発電所、Daigas 大分みらいソーラー、四国セントラルエナジー
	第 2 回トランジションボンド	2022 年 9 月	270 億円	桑原城メガソーラー（No.4）、茨城県北茨城市磯原町特高発電所、姫路天然ガス発電所
	第 3～5 回トランジションボンド	2023 年 6 月	350 億円	姫路天然ガス発電所
	トランジション・リンク・ボンド	2024 年 6 月	250 億円	—
ローン	トランジション・ローン	2023 年 1 月	350 億円	姫路天然ガス発電所
	トランジション・リンク・ローン	2025 年 9 月	300 億円	—
合計		—	1,620 億円	

第 1 回トランジションボンド（第 44 回無担保社債）

1. 資金充当状況

2022 年 6 月 2 日発行の「第 1 回トランジションボンド（第 44 回無担保社債）」にて調達した 100 億円は、下記の通り、各プロジェクトに計画通り全額充当完了しました。内訳は下表の通りです。

適格クライテリア	プロジェクト名称	金額	リファイナンス	新規充当	未充当額
再エネ電源	印南風力発電所	100 億円	45 億円	—	—
	野辺地陸奥湾風力発電所		15 億円	—	—
	横浜町風力発電所		18 億円	—	—
	Daigas 大分みらいソーラー		12 億円	—	—
天然ガス・コージェネ高度利用	四国セントラルエナジー		8.2 億円	1.8 億円	—

2. インパクトレポーティング

（1）再エネ電源

充当対象となった下表のプロジェクトは、2025 年 8 月現在、順調に稼働しています。

プロジェクト名称	運開時期	設備容量	環境改善効果 ^{*1}	
			2023 年度	2024 年度
印南風力発電所	2018 年 6 月	26.0MW	22,429 t-CO ₂ /年	19,909 t-CO ₂ /年
野辺地陸奥湾風力発電所	2023 年 1 月	39.6MW	24,335 t-CO ₂ /年	24,489 t-CO ₂ /年
横浜町風力発電所	2023 年 4 月	43.2MW	24,861 t-CO ₂ /年	25,263 t-CO ₂ /年
Daigas 大分みらいソーラー	2013 年 5 月	26.5MW	7,546 t-CO ₂ /年	7,207 t-CO ₂ /年

*1 環境改善効果：

年間発電量実績(kWh)×出資割合(%)×火力電源平均の CO₂ 排出係数(kg-CO₂/kWh)×1/1000

（2）天然ガス・コージェネ高度利用

本プロジェクトは、産業用のお客さまへガス導管による天然ガスを供給するプロジェクトであり、燃料転換による地域社会の低炭素化に資するものです。

プロジェクト名称	供給開始時期	環境改善効果 ^{*2}	
		2023 年度	2024 年度
四国セントラルエナジー	2022 年 12 月	16,554 t-CO ₂ /年	17,449 t-CO ₂ /年

*2 環境改善効果：

(「燃料転換前の石炭・石油等の CO₂ 排出量」-「燃料転換後の LNG の CO₂ 排出量」) × 出資割合(%)

第 2 回トランジションボンド（第 47 回無担保社債）

1. 資金充当状況

2022 年 9 月 1 日発行の「第 2 回トランジションボンド（第 47 回無担保社債）」にて調達した 270 億円は、下記の通り、各プロジェクトに計画通り全額充当完了しました。内訳は下表の通りです。

適格クライテリア	プロジェクト名称	金額	リファイナンス	新規充当	未充当額
再エネ電源	桑原城メガソーラー (No.4)	270 億円	15 億円	—	—
	茨城県北茨城市磯原町 特高発電所			—	—
火力電源/ 天然ガス・コージェネ高度利用	姫路天然ガス発電所		255 億円	—	—

2. インパクトレポート

(1) 再エネ電源

充当対象となった下表のプロジェクトは、2025 年 8 月現在、順調に稼働しています。

プロジェクト名称	運開時期	設備容量	環境改善効果 ^{*3}	
			2023 年度	2024 年度
桑原城メガソーラー (No.4)	2020 年 4 月	約 12.0MW	17,961 t-CO ₂ /年	17,155 t-CO ₂ /年
茨城県北茨城市磯原町 特高発電所	2021 年 1 月	約 35.0MW		

^{*3} 環境改善効果：
年間発電量実績(kWh)×出資割合(%)×火力電源平均の CO₂ 排出係数(kg-CO₂/kWh)×1/1000

(2) 天然ガス・コージェネ高度利用

姫路天然ガス発電所は、高効率ガスタービンと排熱回収ボイラを備えており、国内トップクラスの発電効率及び環境性能を有した発電所であり、間接的に非効率火力発電所や相対的に高い CO₂ を排出する火力発電所の代替（燃料転換）に資する発電所です。

2025 年 8 月現在、当初計画通り 2026 年の運転開始を目指し、建設工事を進めています。

プロジェクト名称	運開時期（予定）	設備容量	環境改善効果	
			2023 年度	2024 年度
姫路天然ガス発電所	1 号機：2026 年 1 月 2 号機：2026 年 5 月	1245.2MW	—	—

第 3～5 回トランジションボンド（第 50～52 回無担保社債）

1. 資金充当状況

2023 年 6 月 2 日発行の「第 3～5 回トランジションボンド（第 50～52 回無担保社債）」にて調達した 350 億円は、下記の通り、プロジェクトに計画通り全額充当完了しました。内訳は下表の通りです。

適格クライテリア	プロジェクト名称	金額	環境改善効果		
			リファイナンス	新規充当	未充当額
火力電源/ 天然ガス・コージェネ高度利用	姫路天然ガス発電所	350 億円	—	350 億円	—

2. インパクトレポート

(1) 天然ガス・コージェネ高度利用

姫路天然ガス発電所は、高効率ガスタービンと排熱回収ボイラを備えており、国内トップクラスの発電効率及び環境性能を有した発電所であり、間接的に非効率火力発電所や相対的に高い CO₂ を排出する火力発電所の代替（燃料転換）に資する発電所です。

2025 年 8 月現在、当初計画通り 2026 年の運転開始を目指し、建設工事を進めています。

プロジェクト名称	運開時期（予定）	設備容量	環境改善効果	
			2023 年度	2024 年度
姫路天然ガス発電所	1 号機：2026 年 1 月 2 号機：2026 年 5 月	1245.2MW	—	—

トランジション・ローン

1. 資金充当状況

2023 年 1 月に実施したトランジション・ローンにて調達した資金につきまして、下記の通り、プロジェクトに計画通り全額充当完了しました。内訳は下表の通りです。

適格クライテリア	プロジェクト名称	金額	資金充当状況		
			リファイナンス	新規充当	未充当額
火力電源/ 天然ガス・コージェネ高度利用	姫路天然ガス発電所	350 億円	310 億円	40 億円	—

2. インパクトレポート

(1) 天然ガス・コージェネ高度利用

姫路天然ガス発電所は、高効率ガスタービンと排熱回収ボイラを備えており、国内トップクラスの発電効率及び環境性能を有した発電所であり、間接的に非効率火力発電所や相対的に高い CO₂ を排出する火力発電所の代替（燃料転換）に資する発電所です。

2025 年 8 月現在、当初計画通り 2026 年の運転開始を目指し、建設工事を進めています。

プロジェクト名称	運開時期（予定）	設備容量	環境改善効果	
			2022 年度	2023 年度
姫路天然ガス発電所	1 号機：2026 年 1 月 2 号機：2026 年 5 月	1245.2MW	—	—

トランジション・リンク・ボンド/ローン

1. トランジション・リンク・ボンド/ローンによる資金調達実績

トランジション・リンク・ボンド/ローンによる資金調達は以下の通り実施しております。

項目		発行時期	調達額
社債	トランジション・リンク・ボンド	2024 年 5 月	250 億円
ローン	トランジション・リンク・ローン	2024 年 9 月	300 億円
合計		—	550 億円

2. KPI/SPT

当社は、トランジション・リンク・ファイナンスの実行において、以下の KPI および SPT を設定しています。Daigas グループの国内サプライチェーンにおける CO₂ 排出量は、国内のエネルギー需要や個別プロジェクトの状況等に大きく影響されるため、年単位で前後する可能性があります。このため、Daigas グループでは年次の SPT を設定せず、2030 年度の目標達成に向けた中長期的な取り組みを進めていくこととしています。

KPI	SPT
Daigas グループの国内サプライチェーンにおける CO ₂ 排出量（スコープ 1・2・3）	2030 年度： 500 万トン削減（2017 年度比）

3. KPI/SPT の実績値

算定は、国際標準である GHG プロトコルのガイダンスに基づいて実施し、その方法および結果については、第三者機関により信頼性、正確性に関する検証を受けています。

2017 年度（基準年）	2022 年度	2023 年度	2024 年度
3,201 万トン	2,505 万トン	2,463 万トン	2,344 万トン

※千トン単位は四捨五入して記載

（独立保証報告書）

ビューロベリタスジャパン株式会社による独立報告書は以下を参照。

https://www.daigasgroup.com/files/data/sustainability/reportpolicy/review/ghg_jp.pdf

以上